

第4期さいたま市外国人市民委員会 第3回委員会 会議録

1 第4期さいたま市外国人市民委員会の議題

国籍の違いに関わらず、すべての市民が安心して、住み続けたい魅力ある街づくりに向けて
(1) 外国人の子育て・子どもの学校生活において必要な支援について
(2) 外国人がさいたま市を訪れたいと思ってもらえるための観光の取組みについて

2 議題案を実現するための課題、解決策について

(1) 外国人の子育て・子どもの学校生活において必要な支援について

① 日本語の支援をしてほしい

意見・具体的な方法：

・放課後に1時間ぐらい大学生のメンターとか、ボランティアさんと連携して日本語のレッスンを行ったり、宿題を手伝ったりしてくれると子供が持つ日本語の悩みは少しずつ解決できると思います。(イユジン)

・子どもは大人より日本語を学ぶ機会や時間が多いと思うので、大人向けのレッスンが常に可能になる環境になってほしいです。このためには職場からの支援や地域でサポートしてくれるプログラムがあると役に立つと思います。できればオンラインレッスンを行ってほしいです。(イユジン)

・各学校に専門クラスを設置するのが、理想かもしれないが、予算の関係で難しいかもしれないので、地域に一校ぐらいにまとめて、日本語専門学校を作り、そこで日本語を学ぶ。ある程度のレベルに達したところで、日本の公立学校に行く。日本語専門学校では日本の文化や、保護者に対してもアドバイスなどしても良いと思う。どのレベルに達すれば、公立学校に行けるか(例えば、N1レベルなど)の基準は教育委員会と検討するのが良いと思う。(リアンダー・ヒューズ)

・外国人の子供の日本語支援については、放課後に補修授業の時間を使い教える。外国人保護者の日本語支援については、平日夜間、土日などの時間に公民館や市の施設を活用して教室を開校するなどの方法が考えられる。カリキュラムについては、日本語が全く話せない人にはスピーキング中心、ある程度話せる人には読み書き中心のカリキュラムを組みレベル毎にクラス分けを行う。(リム・キョンヒ)

・ボランティアのクラス以外に、市役所による一対一のビデオクラスができれば実施してはどうでしょうか？(ライ・ウダラ)

・定期的に日本語教室を開催する。一週間に一回か、二週間に一回の日本語教室をやって、丁寧な日本語指導を貰えば、外国人の学生さんたちは日本の生活に早く慣れる。(オウ・ライ)

・外国人が多い学校に、母国語と日本語が両方わかる先生を配置してほしい。週1~2回に彼らに教える。(ラ・コウ)

・日本語習得を手助けする日本語の指導員の学校訪問の回数を生徒のレベルに応じて増やす事。学校以外でも集まって勉強できる身近な場所を作ること。親子で参加する日本語弁論大会を開催して、親子で力を合わせて日本文化や日本語の勉強をするモチベーションをあげるイベントをやってみるのも面白いでしょう。(西川・ナンシ)

・さいたま市には日本人のボランティアで、それぞれの国の言語を話せる方がいると思いますので、

その方達を活用して、支援を受けるのが良い。また、日本語がよくわからない保護者や生徒がアクセス／コンタクトできる場を作ることや、WEB 会議などを使って、オンデマンドでコンタクトできる環境を作ると良い。(ゴンザレス・アドリアナ)

② 学校での書類を多言語にしてほしい

意見・具体的な方法：

- ・提出書類の例を英語か、地域で多く使われる言語で記載して必要な方に配布する。また、表は日本語、裏は英語、外国語といったようにする。(イユジン)
- ・今は翻訳サイトやアプリなども豊富なので、まずは書類をメールで送付する。必ず、提出が必要なものなどは、メールのタイトルを分かりやすい日本語、または英語でその旨を伝え、送付をする。(リアンダー・ヒューズ)
- ・それぞれの言語に合わせて書類を多言語化する。(リム・キョンヒ)
- ・学校の書類を多言語に対応するため、膨大な翻訳作業が発生します。できたら、もっと電子書籍の形で、多言語での形で対応したらどうでしょうか？ デジタルでの対応で翻訳作業が終われば、データのみで誤字などの訂正やアップデートができます。(ライ・ウダラ)
- ・よく使われる通知文などを、外国語に翻訳する。専門の人に頼む。(ラ・コウ)
- ・英語の書類を作成してほしい。(里村 オアナ・ジョルジアナ)
- ・単語レベルでの添え書きが少しでもあると助かると思います。(西川・ナンシ)
- ・さいたま市が翻訳システムを購入するか、クラウドサービスを利用して、翻訳文書を提供することも考慮して欲しい。

③ PTA への参加

意見・具体的な方法：

- ・外国人で日本語が分からないという理由で役員を免除するという事は、あってはならないので、日本の公立学校がなぜ役員というものがあるのか、まず、そこを説明する必要があると思います。(リアンダー・ヒューズ)
- ・PTA 活動に参加できない外国人は日本の社会で溶け込みにくかったり、またこの役員活動が自分たちの子供の環境を良くするという自覚をもって行うことが大事である旨を、英語や簡単な日本語で説明する。※本人の親でも役員は簡単な仕事をしたい、出来ればやりたくないと思っている人は多いので、この文化に関しては外国人であっても理解する必要があると思います。(リアンダー・ヒューズ)
- ・①で提案した日本語専門学校に自身の子供が通っているときに、そこで外国人保護者もこの役員会の活動について、この学校で説明を受ける。日本の公立学校に行った時に、「知りませんでした」ということがないようにする。各学校で役員会のあり方など多少異なると思うので、この日本語専門学校で各学校の役員会説明資料を用意して、外国人が行く予定の公立学校の資料を渡す。役員会でのトラブルや質問など、ここの職員が間に入っても良いかもしれません。(リアンダー・ヒューズ)
- ・全体の PTA 以外に、外国人の家庭のみを対象とした PTA の時間枠を設ける等の環境作りが考えられる。(リム・キョンヒ)
- ・多言語で説明書類を作成する。地域の外国人に配布する。説明会を行って、その場で参加しても

らう。(オウ・ライ)

- ・外国人生徒の保護者も PTA の理事を、お互いに協力しながら PTA 活動を推進する事で自然な交流を図れる仕組みを作る。(ラ・コウ)
- ・事前に話し合う内容の資料を外国人に提供しておく。資料は翻訳システムを使って準備する。(ゴンザレス・アドリアナ)

④ サポート役（コーディネーター）の配置

意見・具体的な方法：

- ・本当なら各公立学校にサポート職員がいるのがいいと思うが、無理な場合は①や③で回答した日本語専門学校に配置するのが良いと思う。この場合、もし子供達がこの学校を卒業しても、その後もフォローをするという意味で各公立学校と密に連携を取れる環境をつくるのが大切だと思います。このコーディネーターが外国人保護者向けのガイダンス（例えば PTA 活動についての説明など）を行う。(リアンダー・ヒューズ)
- ・書類の多言語化同様、それぞれの母国語に対応出来るサポート役の配置を行う事は大切だと思う。ただし、各学校に配置することは現実的でないため、市の中でいくつかの場所を設けながら配置していくなどの工夫が必要になると思う。(リム・キョンヒ)
- ・市役所でコーディネーターを設置するのは、勤務地が限定されてしまう可能性があります。例えば、電話でいつでも連絡できるコーディネーターを設置することで、コーディネーターの方々が自由に自分の時間をコントロールできる、かつサポートが必要の方々へ、支援できるかもしれません。(ライ・ウダラ)
- ・心理の専門の先生を配置する。心理、生活、学習について、たくさんのアドバイスをあげる人がいれば、学生さんたちも安心する。(オウ・ライ)
- ・学校の中で、サポートを配置する。外国人子どもが何かわからないときは、すぐ対応できる。(ラ・コウ)
- ・ぜひ配置をしてほしい。日本で暮らす外国人の気持ちが理解できる人がいい。(里村 オアナ・ジョルジアナ)
- ・その人の置かれている状況を把握し、状況を改善させるために必要な物や場所をマッチングできるサポート役が必要だと思います。情報を知ると知らないではその人の生活が大きく変わってしまいます。自分と同じ境遇の人が集まるコミュニティの紹介や、学校生活に必要な学習ができる場所の紹介、学校生活や日本での生活で困った事を相談できる場所の案内、そして将来の可能性を見出す手助け、学費や進路の相談など、日本語の指導員以外に生徒やその親にアドバイスできるサポート役の人の学校訪問があってもいいと思います。(西川・ナンシ)
- ・WEB 会議の活用を行う。(ゴンザレス・アドリアナ)

⑤ いじめ、差別への対応

意見・具体的な方法：

- ・外国語で対応できるカウンセラーを紹介してくれると起きた問題に対して解決にたどりつけると思います。学校内の相談室で対応が難しい場合、市や教育委員会に相談窓口みたいなところを設置してほしいです。(イユジン)
- ・学校の道徳の時間などで指導をする。(リアンダー・ヒューズ)

- ・ 道徳の時間の時間等に具多的な事例を交えて、児童に啓蒙していく。また、それを行う、教員に対しても市の教育委員会等が中心となって教員への啓蒙活動を行う事、等が考えられる。(リム・キョンヒ)
- ・ 方法や視点もさまざまで、難しいですが、小中学校の国際化の発展として、違う価値観、習慣、人種へ認め、友情を作ることが必要だと思います。(ライ・ウダラ)
- ・ 学生さんたちの状況を把握するために、定期的に相談会を行って、心理と身体の健康を保持する。また、外国人のボランティアを募集して、日本人の学生に外国のことを話せる。お互いの理解をしてもらって、いじめと差別を減少する。(オウ・ライ)
- ・ いじめや差別を受けた経験のある教員が、子供達に対して学んだ事を伝える。(ラ・コウ)
- ・ 日本での生活に馴染めない原因の多くがいじめや差別にあると思います。日本で生活していくにはもちろん日本の社会、すなわち子供の世界でいうと『学校』の環境に適応する事が必要になります。しかしその子供の性格やクラスメートの雰囲気によっては、そう簡単な物ではないのも私は理解できます。日頃から何かができない人をサポートする雰囲気づくりがクラスの中で必要です。雰囲気の違う子供を孤立させない工夫、そして心が傷ついてしまった子供へのケアも大事だと思います。日本語教室や地域の集まりで自分と同じ境遇の仲間を知るのもその一つの方法です。得意分野を伸ばして自信をつけさせるのも一つの方法だと思います。国際交流や国際理解の授業を行う際、美しい観光地やお祭りの紹介、文化の違いを際立たせるやり方をする事があると思いますが、外国から来る外国人は観光客だけではない事、日本に残って生活する外国人もいるという事、そしてそんな社会で一緒に生きていくには何が必要で、自分に何ができるのかを子供たちに考えさせる時間を持つのも大事だと思います。(西川・ナンシ)
- ・ 思いやり教育の充実と指導を行う。海外の学校とのオンライン会議をしての児童の交流を進めて、多様性について身をもって感じてもらう。(ゴンザレス・アドリアナ)

⑥ その他

前回皆さまから「学校生活」における支援について意見を多くいただきましたが、「子育て」についても意見を伺えればと思います。子育てに関する課題とその解決策について、意見を書いてください。

意見・具体的な方法：

- ・ 中学校では受験の為、多くの学生が塾に通って、そこで受験の情報を仕入れていると聞きました。外国人の親にとっては、塾は負担が多いし、この時点で日本人と外国人の差が生まれている気がする。受験のシステムを変えるのは難しいが、外国人でも分かる、受験の情報を教えてほしい。(リアンダー・ヒューズ)
- ・ 外国人家庭のための子育てサークルを作り、同じ境遇の外国人同士が積極的に交流できる場を設ける事が大切ではないかと思います。(リム・キョンヒ)
- ・ 親子両方をコミュニティーへ受け入れること、市役所から外国人お母さんへ応援プログラムの立ち上げなどを行って、周りの親を巻き込む。(ライ・ウダラ)
- ・ 外国人を集まるイベントを行って、お互いに情報共有する。周りにどんな外国人の方がいるか、皆興味を持っていると思う。(オウ・ライ)
- ・ 日本のママとパパたちと外国人のママ・パパたちの意見や知りたい情報を共有できるサービスを作る。これからもっと増える外国人の子供達、家族が日本の生活への混乱を減らせるように育児の段階からちゃんとした話をする必要があると思います。(ラ・コウ)
- ・ 来日される年齢によって必要とするサポートの内容が変わってくると思います。幼い頃なら日本語を話すレベルを習得すれば学校での生活に馴染むスピードを早めることができます。また受験を向かえる年齢でしたら、文字を書く事や長文の読解そして文書で表現できる能力も求められてくると思

まず、その生徒一人一人の性格や状況を見極めて必要な対応をする事が大事です。もしかしたら、日本語を言語として教える人と教科の内容を説明する人の使い分けが必要かもしれません。(西川・ナンシ)

・住んでいる国の習慣を理解して、困った時があったら、助けを求め、助けをありがたく受入れてくれると嬉しい。(ゴンザレス・アドリアナ)

(2) 外国人がさいたま市を訪れたいと思ってもらえるための観光の取組みについて

① 文化体験の紹介(生け花、着物、茶道、書道、座禅、料理教室、陶芸、そば打ち、盆栽など)

を外国人向けに行っている教室をまとめて掲載したウェブサイトや案内所を作してほしい

意見・具体的な方法:

・WEBサイトの開設や観光客が体験して楽しめるような施設の開設があるとよいのではないのでしょうか。(リム・キョンヒ)

・ウェブサイト作成していても、有効かつ迅速に伝えないと、外国人も分からないと思います。(ライ・ウダラ)

・外国人も参加できる文化体験の教室の情報を収集して、パンフレットを作って、大宮駅または浦和駅の近くで、案内所を設置して、地元の外国人住民や外国観光客に向けて、情報を伝えます。また、ホテルやレストランの割引券も一緒に提供する。タクシーとセットプランなど、色々パッケージプランはあってもいいと思う。(オウ・ライ)

・外国人向けの文化センターを作る。定期的にイベントを行う。(ラ・コウ)

② ナイトマーケット、イルミネーションを実施してほしい

意見・具体的な方法:

・イルミネーションは浦和とか新都心にあるので大丈夫だと思います。ナイトマーケットは大きい広場とかスタジアムを借りて行うことが可能だと思います。開催方法等については、さいたま新都心で行っているビールフェスティバルなどを参考にするのもいい方法でしょう。(イユジン)

・駅から離れていると観光客が来ないので、駅の近くで空いている土地(例えば埼京線の高架下など)に屋台や雑貨、カフェなどを誘致する。埼京線の辺りは川などもあるので、少し河川工事をし、日本らしさがある風情として例えば「川下り」を売りにするのもよいと思う。イルミネーションとは少し違うが、ベトナムのホイヤンのように、川と屋台を活かして、ランタンでイルミネーションをするとアジアな風情が出ると思う。(リアンダー・ヒューズ)

・イルミネーションは今でも浦和駅やさいたま新都心駅周辺は少しだけ行っているが、もっと町全体として、イルミネーションの街とかにしても良いと思う。各家庭、商店やお店など、イルミネーションをしているお店には補助金を付けるとか。県庁に東京ミレナリオのようなものをつくる。(リアンダー・ヒューズ)

・大人と子供を交えての交流が大切になるといいますので、ナイトマーケットだけでなく週末の日中に交流が出来るようなマーケット等の場を設ける事も必要だと思います。(リム・キョンヒ)

・ナイトマーケットについては賛成しません。(ライ・ウダラ)

・新都心駅のイルミネーションは結構きれいに、よく利用すれば、音楽のまつりや夏祭りや手踊やナイトマーケットなど行ったら、みんなが喜ぶと思う。(オウ・ライ)

・大宮駅周辺、浦和駅周辺で屋台村を設置する。埼玉の名物を販売する。(ラ・コウ)

・興味があります。このようなイベントがあったらスタッフとして働いてみたい。(里村 オアナ・ジョルジアナ)

③ 地域につながる活動に参加する前提で、外国人向けの地域限定クーポンを作成、配布してほしい

意見・具体的な方法：

- ・地元の食事やお土産などを紹介して、クーポンが使用できるといいと思います。(リアンダー・ヒューズ)
- ・クーポンは市の税金を財源にした現金給付のような性質ですので、公平性の観点から外国人のみを対象としたクーポンの配布には違和感があります。(リム・キョンヒ)
- ・クーポン作成について賛成します。ただし効果がないクーポンを作らないように注意すべきだと思います。例えば、外国人市民活動へ一度アンケートを回答することを条件に、500円のクーポンを差し上げるなどをすると良いと思います。(ライ・ウダラ)
- ・外国人市民に自治会に参加してもらい、参加する市民に地域クーポン配布する。(オウ・ライ)
- ・各自治会に配布し、自治会から本人に配布する。(ラ・コウ)
- ・高齢者向けの支援は充実していますので、それと類似のサービスを提供して頂けるのは嬉しいと思います。特に頑張っている留学生にとっては助かると思います。(ゴンザレス・アドリアナ)

④ コンベンション・イベントの誘致をしてほしい

意見・具体的な方法：

- ・さいたま市にある大型施設を利用して、大きいイベントを誘致する。漫画、食文化、伝統芸能など。(リアンダー・ヒューズ)
- ・①に関連するようなコンベンションやイベントの開催などしてみたいはいかがでしょうか？(リム・キョンヒ)
- ・さいたま市が持っている資源を生かし、さいたまスーパーアリーナ、埼玉スタジアム 2002 などの施設と連携して、国際的なコンベンション・イベントの誘致・開催を推進する。日本の漫画文化、岩槻の人形、大宮の盆栽、浦和のうなぎなどを中心に、様々なイベントを行って、参加者の体験や感想を聞いて、テレビとかでもっと多くの人に発信して、観光客を集められると思う。(オウ・ライ)
- ・さいたま市の有名な観光地を SNS で世界の人々に発信する。国際コンベンション・イベントの誘致を行う。さいたま市の地の利を生かし、さいたまスーパーアリーナ、埼玉スタジアム 2002 など市内に立地する施設の連携と有効利用を図り、さいたま市に適した国際コンベンション・イベントの誘致・開催を推進する。(ラ・コウ)

⑤ SNS、情報を1つにまとめたウェブサイトで情報発信をしてほしい

意見・具体的な方法：

- ・今現在その方向で市の方も動いていると思いますので、引き続き各種情報をまとめて発信されるとよいと思います。(リム・キョンヒ)
- ・さいたま市の市報モバイル版を作ったりするなどを検討して良いのではなかと思います。(ライ・ウ)

ダラ)

- ・観光専用のウェブサイトを作って、観光地の紹介はもちろんある。そのほか、多言語で住民や観光客の体験感想も追加します。Facebook などの SNS のリンクとつながって、最新のイベント情報を確認できるように作る。(オウ・ライ)
- ・さいたま市の有名な観光地を紹介する専用の SNS 作り、世界の人々に発信する。(ラ・コウ)

⑥ 大宮駅から氷川神社までを中心とし、まち歩きを中心とした観光プロモーションをしてほしい 意見・具体的な方法：

- ・①の文化紹介等を交えたまち歩きのプロモーションを行うとよいと思います。(リム・キョンヒ)
- ・神社を中心に観光プロモーションをすることは賛成しません。(ライ・ウダラ)
- ・カフェ、レストラン、ファッション、伝統工芸の店、博物館など、観光地でよくある店を設置して、周りの住民の協力をしてもらって、まつりとか、伝統文化の体験会とかを行って、にぎやかな街を作りましょう。(オウ・ライ)
- ・大宮駅から氷川神社までの道に、カフェ街、レストラン街、買い物街のように店を並べて観光地区みたいに設計する。(ラ・コウ)

⑦ その他

2020 年に作成した、多言語の観光情報のホームページ(さいたま観光国際協会)について、意見を頂ければ幸いです。

URL: <https://www.stib.jp/saitamacity-visitorsguide/>

(1) 良い点：

- ・さいたま市の観光スポットが理解できた。(リアンダー・ヒューズ)
- ・内容が充実していてとても素晴らしいと思います。(リム・キョンヒ)
- ・わかりやすく、非常に良いと思います。(ライ・ウダラ)
- ・とても親切で、わかりやすく説明してあると思います。(オウ・ライ)
- ・色々の方面からさいたま市を紹介してくれていて、とてもわかりやすいです。(ラ・コウ)
- ・エリアごとに分けられていて、わかりやすい。(里村 オアナ・ジョルジアナ)
- ・動画で場所の様子が見られる事がとても良いと思いました。動画なら日本語、英語、中国語を話す方以外であったとしても、動画を見るだけで雰囲気を楽しむ事ができますね。しかも説明が長すぎずいい塩梅にまとめられているのも良い感じです。特に Ofurocafe Utatane の紹介が私のお気に入りです。さいたま市の観光地の一つの難点は一つの場所での滞在時間が短い事だと思っています。小江戸のような町全体がテーマパーク化している場所でしたら半日費やす事ができますが、テーマパークではない場所には次の観光地へのつながりが必要だと思っていましたので、色んな場所をめぐるルートが載っているのもとても良いと思いました。私が Ofurocafe Utatane の紹介を見て一度行ってみたいと思ったように、ホームページを見た人が行きたくなるような内容になっている事が大事だと思います。(西川・ナンシ)
- ・とても充実していると思います。(ゴンザレス・アドリアナ)

(2) 改善する点：

- ・分かりやすいページで良かったですが、記載されてある情報は足りないなと思います。日本語のページと英語のページを比べてみると英語の方では書かれていなかったり情報が少ないなと思い

ます。(イユジン)

- ・予約の段階まで出来ると、素晴らしいサイトになると思う。このサイトを見れば、すべてが完結すると、旅行客も分かりやすいと思う。そのためには、民間の協力も必要になると思う。(リアンダー・ヒューズ)
- ・時代とともに内容のアップデートの必要性も出てくると思いますので、時折、内容の見直しを行う事が必要になると思います。(リム・キョンヒ)
- ・各場所の紹介の下に、すぐ「行き方」ボタンを追加、東京駅からのルートを案内する。乗り換え案内の表示など。(ライ・ウダラ)
- ・多くの言語を増やしてもらえると嬉しいです。(オウ・ライ、ラ・コウ、ゴンザレス・アドリアナ)
- ・キャンセルされたイベントはWeb ページに載せなくてもよいと思います。(里村 オアナ・ジョルジアナ)
- ・内容が長くなり過ぎないように気を付ける必要があると思います。(西川・ナンシ)

また、さいたま市に住む外国人の方向けに、英語とやさしい日本語のホームページを作成しました。こちらは、生活情報を中心としています。意見を頂ければ幸いです。

英語版 URL : <https://www.city.saitama.jp/en/index.html>

やさしい日本語版 URL : <https://www.city.saitama.jp/jp/index.html>

(1) 良い点 :

- ・内容が分かりやすくよいと思います。(リム・キョンヒ)
- ・とても良いと思います。(ライ・ウダラ)
- ・とても親切で、わかりやすく説明してあると思います。(オウ・ライ)
- ・外国人がみたら、すぐわかる情報になっているので良いと思います。(ラ・コウ)
- ・簡単な言葉で書かれている事。短い単語と絵で分かりやすく表示されたアイコンから手続き方法や説明文につながっている事。(西川・ナンシ)
- ・とても分かりやすくなっていると思います。(ゴンザレス・アドリアナ)

(2) 改善する点 :

- ・一昨年の台風のようなものが来た時に、一番最初のトップページに「避難！」など、一発で危ないことがわかるようなサイトになっているといいと思います。(リアンダー・ヒューズ)
- ・外国人が参加できるイベントの情報をより増やしていくとよいと思います。(リム・キョンヒ)
- ・多くの言語を増やしてもらえると嬉しいです。(オウ・ライ、ラ・コウ、ゴンザレス・アドリアナ)
- ・時間が書かれている所が見難いと思います。数字の間に『時、分』などが挟まっているので読み方を入れていると思いますが、それではちょっと見難いです。スケジュール的な物は表で表しても良いと思いますがいかがですか？日本語があまり理解できない人に文字だらけの説明を見せるのは理解が難しいと思います。(西川・ナンシ)